

畳も、人も、長い付き合いを 銀虎式「循環型社会における畳のある暮らし」を実現

株式会社銀虎 代表取締役 高野 登氏



当社は畳の製造・卸・小売を営む地域に根差した畳店です。日本有数のいぐさ産地である熊本県八代の生産者との密接な絆を活かして、お客様に上質で心地よく長く使っていただける本物の畳を提供し地元のお客様のご愛顧を頂いています。平成14年に現在地のさいたま市見沼区に店舗を構え創業し、平成22年7月には株式会社銀虎として法人成りをいたしました。

創業以来の厳しい業況

当社は、平成14年に現在地に新店舗を構え事業を開始しました。しかし創業後長きにわたって、「地域に根差した畳店でありたい」という思いとは裏腹な状況に悩むこととなりました。それは事業維持を理由とした売上偏重に陥り、地域のお客様から仕事を頂くことよりも、ホテル・旅館など法人からのお仕事を優先してしまったことに原因がありました。法人からのお仕事は、売上は伸びるものの利幅は小さく、その仕事場は遠隔地の場合も多く、労多くして得るものが少ないという状況でした。何よりも当社が理想とする「地域に根差した畳店であること」には程遠い状況に、このままではいけないという思いを強くしていました。

専門家の支援で事業を 「ありがたい姿」へ大きく変換

その様な中、日ごろからお世話になっている埼玉縣信用金庫から、財団の専門家派遣を紹介いただき、専門家の助言を得ながら事業の見直しを行うことにしました。本来の「ありがたい姿」は何であるのか、そのために何をすべきなのか、同時に必要な利益管理も行いながら、具体的な活動を考え実行に移していきました。その結果、当社の主要顧客は法人中心から個人客中心へと大きく変容し、収益も改善して「地域に根差した畳店」に大きく近づくことが出来たと感じています。

持続可能な畳のある 暮らしの普及にむけたSDGs認証の取得

近年日本の家屋から畳のある和室がなくなっていく現象が見られます。これは、いぐさ生産者も含め畳業界にとって大きな脅威となっています。

その様な環境を少しでも良い方向に向ける努力として、当社は「さいたま市SDGs認証」の取得を決意し令和3年12月に取得しました。

本物の畳は、人にも環境にもやさしく、かつ長く使うことのできる、持続可能な暮らしに貢献する製品でありSDGsのコンセプトにも合致したものと言えます。

今後も当社は「循環型社会における畳のある暮らし」の実現に向けて地域に根差した努力をしてまいります。



▲【左】地域に根差した畳店として、長いお付き合いをお願いします。【右】お客様に生産者の思いや、安心安全で上質な畳の魅力をお伝えできるよう、定期的に生産者を訪ねて絆を深めています。

支援金融機関

財団との連携からお客さまの夢の実現をともに目指します

畳の魅力を知ってもらうため、販路転換を図る観点から、財団と連携し専門家派遣を行うこととなりました。法人顧客から個人顧客への販路転換を行うことで、個人顧客との関係を構築し、社長の目指す、ありがたい姿に近づけるお手伝いことができました。



銀虎さまの掲げる「地域に根差した畳店」という理念は、地域金融機関である当金庫の経営理念に通じるものがあります。今後も課題解決からさらなる発展に貢献してまいります。

◀埼玉縣信用金庫 大和田支店
主任 岡茂臣氏

プロフィール:株式会社銀虎

【所在地】さいたま市見沼区堀崎町520-4

【設立年月】2010年7月

【事業内容】畳の製造・卸・小売

☎ 048-812-5773

URL <https://gintora.co.jp/>